

■オープンハウス アンケート票（婦中地域）

①ご回答者の属性について

【性別】	☐ 男性	☐ 女性				
【年齢】	☐ 20代以下	☐ 30代	☐ 40代	☐ 50代	☐ 60代	☐ 70代以上
【地区】	☐ 速星	☐ 鶴坂	☐ 朝日	☐ 宮川	☐ 婦中熊野	☐ 古里
	☐ 音川	☐ 神保	☐ その他（ ）			

②以下についてご回答ください。

Q1 公共施設の今後の方向性として、あなたの考えに近いものを選択してください。

☐ ある程度の公共施設の再編はやむを得ないので、あまり利用されていない施設の廃止や統合を行う。
☐ 公共施設をあまり利用しないので、施設を利用する人が適正な負担をするよう利用料金の見直しを行う。
☐ 公共施設の管理や運営を地元で行うようにする。
☐ 現存する施設については、できるだけ維持していくが、利用者数の著しい減少や老朽化の進展が著しくなった時点で廃止する。
☐ いずれにも当てはまらない。（お考えの方向性を教えてください。）
【
】

Q2 婦中地域において、よく利用したり重要だと思う公共施設はどの施設ですか？（複数可）
（別紙対象施設をご覧ください）

番号				

Q3 婦中地域において、改善したら良いと思う施設はありますか？ある場合はどのように改善したら良いかご記入ください。（複数可）（別紙対象施設をご覧ください）

番号	改善方法

Q4 婦中行政サービスセンターの複合化案について

A、B案のどちらが好ましいと思いますか？（パネルをご覧ください）

☐ A案（婦中行政サービスセンターに、西保健福祉センター、婦中図書館、安田城跡ガイダンス施設の各機能を集約化し、地域拠点として整備）
☐ B案（婦中ふれあい館周辺に、婦中行政サービスセンター、安田城跡ガイダンス施設の各機能を集約化し、地域・防災拠点として整備）

上記の理由・補足したい点

--

(次頁につづく)

Q5 速星公民館と笹倉地区コミュニティセンターについて

全市的な方針では集会施設は小学校区に1か所の配置を目指していますが、速星地区に2つある集会施設のあり方について、あなたの考えに近いものを選択してください。

☐ 速星地区全体で1つの集会施設となるよう、利用者が主に周辺住民に限られている笹倉地区コミュニティセンターを市の施設としては廃止し、民間や地元などへ譲渡する。
☐ 笹倉地区コミュニティセンターは利用者は少ないが、周辺住民が利用しているため、市の施設として維持する。
☐ その他
【 】

Q6 安田城跡ガイダンス施設について

あなたの考えに近いものを選択してください。

☐ 利用者が少なく、必ずしもその場所になければならない理由もないことから、他の施設に展示物を移転し、トイレなどの最低限の機能は維持する。
☐ 利用者は少ないが、国に指定された貴重な史跡であるため、利用の促進を図り維持する。
☐ その他
【 】

Q7 婦中図書館について

あなたの考えに近いものを選択してください。

☐ 行政サービスセンターの空きスペースに移転することでスペースを広くとることができ、速星駅からも近くなり利便性が高まる。
☐ 現在の配置は周辺に公共施設が集中していて便利であり、利用する上で不都合もないため現状のまま維持する。
☐ その他
【 】

Q8 西保健福祉センターについて

あなたの考えに近いものを選択してください。

☐ 行政サービスセンターに西保健福祉センターを移転し、庁舎機能と福祉機能のワンストップ化を図る。
☐ 現在の敷地は福祉ゾーンとして、西保健福祉センター、特別養護老人ホーム、シルバー人材センターなどの福祉施設が集約されており、福祉機能が近接していることで連携が取りやすくなっているため、現状の配置のまま維持する。
☐ その他
【 】

そのほか、課題だと思うことやその対応に必要なだと思うことがあればご自由にご記入ください。

--

ご回答ありがとうございました！